

はままつ 市議会だより

第204号

令和7年5月5日

身近な市議会を目指して



もくじ *contents*

◎ 2月定例会のあらまし	P 2
◎ 可決した主な議案	P 3
◎ 常任委員会の状況	P 4
◎ 代表質問・一般質問	P 6
◎ 用語解説・資産等の公開	P10
◎ 議員定数のあり方調査会	P11
◎ 特別委員会の活動状況	P12

せいかにぞうがたすいぢゅう
「青花象形水注」ベトナム・黎朝(15～16世紀)
町田市立博物館蔵

～浜松市美術館～

「躍動するアジア陶磁-町田市立博物館所蔵の名品から-」

市議会の詳しい情報は
ホームページで公開しています

浜松市議会

検索



2月
定例会

7年度予算 総額約7276億円を可決

「未来へかがやく創造都市・浜松」の実現へ

2月定例会は、2月19日から3月24日までの34日間にわたって開催しました。

◎補正予算などを可決

2月19日の本会議では、6年度関係議案34件について、所管の各常任委員会へ審査の付託をしました。

◎市長が施政方針を表明

2月26日の本会議では、常任委員会で審査した6年度関係議案34件について、採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

また、7年度関係議案の上程に当たって市長から施政方針の表明がありました。その中で、特に産業振興、少子化対策、災害対策、中心市街地や中山間地域の振興などに重点的かつ部局横断的に取り組み、「浜松から地方創生」の実現に向け、オール浜松で「元気なまち・浜松」を実現していくとの決意が述べられました。



7年度施政方針を表明する中野市長

◎代表・一般質問に12議員

3月7日の本会議では2会派が代表質問、2議員が一般質問を、また**3月10日及び11日**の本会議では8議員が一般質問を行い、市の施策について考えをたしました。

◎7年度関係議案を可決

3月24日の本会議では、7年度関係議案53件について、各常任委員長から審査の経過と結果が報告された後、4議員が討論に立ち、7年度一般会計予算に対しては2議員から反対討論、2議員から賛成討論、また水道事業給水条例の一部改正など13議案に対して1議員から反対討論があり、採決した結果、いずれも原案のとおり可決しました。

また、副市長・教育長・教育委員会委員・監査委員の選任案及び人権擁護委員・県公安委員会委員の候補者推薦案に同意したほか、議会提出議案として「浜松市議会委員会条例の一部改正」など4件を可決しました。

議会活動の経過

〔2月〕

12日 議会運営委員会

17日 地方創生特別委員会

19日 本会議（2月定例会開会、6年度関係議案上程）

21日 各常任委員会

危機管理・交通政策特別委員会

25日 大都市制度・行財政改革特別委員会

議会運営委員会

26日 本会議（6年度関係議案採決・7年度関係議案上程・施政方針）

28日 地方創生特別委員会

〔3月〕

6日 議会運営委員会

7日 本会議（代表質問・一般質問）

10日 本会議（一般質問）

11日 本会議（一般質問）

12日 各常任委員会

13日 各常任委員会

18日 大型公共施設建設特別委員会

地方創生特別委員会

19日 議員定数のあり方調査会

21日 議会運営委員会

24日 本会議（7年度関係議案採決・2月定例会閉会）

25日 地方創生特別委員会

可決した主な議案

7年度一般会計予算 総額4160億円

- ◆道路・河川の老朽化対策、適正な維持管理で防災・減災、国土強靱化を推進します。
287億9270万円



橋脚巻立て工による中浜名橋の耐震補強工事(中央区舞阪町)

- ◆老朽化した浜松斎場と雄踏斎場を再整備します。
27億6663万円
- ◆妊娠・出産等にかかる経済的な負担の軽減や疾病等の早期発見、予防を図ります。
7億2816万円
- ◆まちなか賑わい創出事業などにより中心市街地の活性化を図ります。
1億5780万円
- ◆インド人材受け入れの支援等、浜松とインドとの経済交流を図ります。
9801万円



インド工科大学ハイデラバード校との覚書締結(左から鳥井議長、中野市長、マルチ学長)

- ◆東京2025デフリンピック大会に出場するブラジル選手団の事前合宿を受入れます。
3983万円

- ◆私立保育所等のICT化を推進し、保育士等の事務負担を軽減します。
2640万円

- ◆「家康公ゆかりの地」としての認知度を定着させ、都市ブランドの確立を目指すとともに、継続した誘客を図ります。
1701万円



浜松戦国武将隊「葵龍」による家康公祭りでのステージイベント

- ◆海外の成長市場を開拓する取組を支援し、農林水産物及び加工品等のさらなる販路拡大を図ります。
1368万円



うなぎの肥料で栽培したサツマイモ「うなぎいも」の台湾での海外テストマーケティング(台北市・新光三越百貨店)

- ◆待機児童解消に向け、夏季休業期間における臨時放課後児童会のモデル事業を実施します。
558万円

など

可決した意見書

意見書とは、国や県などが実施すべき事項について、議会の意思を意見としてまとめ、内閣総理大臣や関係行政機関などに対して提出するものです。

- ◆地籍調査事業推進のための予算確保を求める意見書
- ◆聴覚補助機器の積極的な活用を促進する取組を求める意見書

常任委員会の状況

3月12日、13日に開催した各委員会での審査の概要です

総務委員会



市民文教委員会



● 明るい選挙推進事業について

【質疑】 投票率向上へ向けた取組は。

【答弁】 直近の投票率は、県知事選で55・35%、衆議院小選挙区で57・1%となっており、これは約4割の有権者が棄権している状態であり、望ましいものではないと考えている。

7年度は、任意団体である浜松市の明るい選挙推進協議会の中に、高校生から20代の選挙啓発サポーターを設置することとし、現在、公募を実施しているところである。サポーターには、例えば新しい視点からのアイデア出しや、一緒に街頭啓発をすることなどの役割を期待している。

● 市民コールセンター等録音機器設置事業について

【質疑】 市民コールセンターの状況は。

【答弁】 市の代表電話として機能しており、1日平均で約300件、連休明けなどの繁忙期には1日約450件の電話対応を行っている。その中の一部に職員に対する暴言、大声、恫喝など、対応が困難な事例があり、市民コールセンターと広聴広報課を合わせると1か月当たり約80件に上っている。そうした電話が職員の精神的な負担になっているため、今回新たに市民コールセンター及び広聴広報課の電話機に録音装置を設置するものである。

● 浜松版Maas推進事業について

【質疑】 ジャパンドローン2025への出展で期待する成果は。

【答弁】 出展者数300社、来場者数2万2000人の大規模イベントであり、関係者に対し、天竜川水系のドローン航路に関する情報発信を行うことで、浸透を図っていく。



天竜川水系におけるドローン実証実験(空撮による河川点検)

● 戸籍の振り仮名追加事業について

【質疑】 戸籍の筆頭者と離れて暮らすDV被害者などへの対応は。

【答弁】 戸籍の振り仮名の通知は、戸籍の附票に記載の住所ごとに行うため、住民基本台帳法に基づく支援措置を受ける方々には問題なく通知が届く。住所を登録せず避難する場合、自身でマイナポータルにより確認する方法はあるが、本市での把握は困難であるため、問合せに丁寧に対応する。

● 不登校児支援推進事業について

【質疑】 5年度の不登校児童・生徒数は前年度比22%増の過去最多であった。今後の不登校児童・生徒への支援や

対応の考えは。

【答弁】 学校を楽しい場所とするための授業の改善、個別支援の実施に加え、通っていた幼稚園・保育園との連携強化、5歳児健診情報の活用による就学後の早期支援により、不登校の未然防止に取り組む。また、公的な居場所の確保、フリースクールとの連携も進め、多様な学びの場の確保を重視した対応を行う。さらに、学びの多様化学校の本市での展開方法についても、情報収集と検討を進める。

● 県立浜松湖北高等学校佐久間分校生徒確保支援事業について

【質疑】 佐久間分校の7年度の入学者は、県が募集停止とする基準を

下回る見込みであることから、存続が厳しい状況にある。全国から生徒を募集する地域みらい留学制度を実施するほかの自治体での効果はどうか。

【答弁】 地域みらい留学を実施する県内の学校では、毎年二、三名の入学がある。教育内容や学校を取り巻く環境が重要と認識しており、地域とともに、魅力ある学校づくりをする必要があると考える。



地域みらい留学制度を実施する県立浜松湖北高等学校佐久間分校

厚生保健委員会



環境経済委員会



建設消防委員会



●5歳児健康診査準備事業について

質疑 全幼稚園への拡充計画は。

答弁 7年度はモデル園4から8園で開始し、8年度は80園程度、9年度には全園での実施を目指している。

●病院事業会計予算について

質疑 浜松医療センター新病棟のICU新設に伴う、浜松医科大学附属病院との連携は。

答弁 両病院のICUを連携し、画像や電子カルテの共有を図るとともに、診療面では、浜松医科大学附属病院の医師の知見を頂きながら、一緒にカンファレンスを行っている。ICUに入る患者は一刻を争うため、両病院の医師などが連携して治療方針を決定できることは有意義である。

●骨髄ドナー等助成事業について

質疑 6年度の補助金の使用者数は。また静岡県全体の骨髄ドナー登録が全国で46位と低い、登録者数を増やすための啓発活動は。

答弁 助成件数は、ドナーが8件、事業所が1件である。啓発については、10月の骨髄バンク推進月間に補助金制度の案内や、市の公式SNSを活用した周知を行った。7年度も事業所への周知と組み合わせ、広く啓発を行い、ドナー登録者数と制度の活用促進を図る。

骨髄ドナー応援宣言。

浜松市骨髄移植推進補助金交付事業はじまりました



骨髄ドナーには
月14万円
を補助
浜松市骨髄移植推進補助金交付のチラシ(抜粋)

●資源循環推進事業について

質疑 これまで実施していた「市食品ロス削減協力店制度」、「はままつ脱プラスチック推進事業者制度」、「市3R推進優良事業者表彰制度」を統合し、浜松循環経済パートナーズ制度事業とする理由は。

答弁 制度によって登録単位が会社や店舗などばらつきがある中で、さらにリサイクルを推進するためには、事業者間の連携体制を整え、全体として登録の業種を広げていく必要があると考えたためである。

●雇用促進事業について

質疑 市内のものづくり企業で活躍する文系女子を紹介する動画の内容は。

答弁 女性が多く活躍する経営企画や総務、生産管理の部署で働く

方に出演を依頼し、女性就職先に求める勤務条件などを含め、企業を通じて業界を紹介してもらう動画を制作する予定である。

質疑 文系の女性に注目した理由は。

答弁 学生からの相談を受け付けているマッチングアドバイザーから、文系の女性は初めから製造業を就職先の候補から外してしまうとの意見があり、製造業も候補の土台に上げてもらう必要があると考えたためである。



ものづくり企業にも活躍の場を

●浜松市水道事業給水条例の一部改正について

質疑 料金改定による水道料金への影響は。

答弁 一般家庭に多いメーター口径13ミリメートル、使用水量1月当たり10立法メートルの場合、1月当たり183円増加する。なお、半年間は減免を適用し、40円の増加にとどめる。

質疑 水道管の耐震化・老朽化対策事業について

質疑 水道料金の改定に当たり、他都市との比較状況は。

答弁 メーター口径13ミリメートル、使用水量1月当たり20立法メートルで比較すると、改定前は政令指定都市の中で2番目に安価であり、改定後は7番目に安価となるが、半年間の減免期間中は3番目に安価となる。また、静岡県西部地域の市町

との比較では、改定前・改定後ともに最も安価である。

●盛土等対策事業について

質疑 盛土の状況や進捗を一元的に管理するためのシステムは。

答弁 盛土の位置や指導の進捗状況を把握するとともに、農地法違反や森林法違反など、一つの事案に対して複数の所管課がどのように関わっているか把握できる情報共有システムとして、「盛土規制法許可申請受付台帳システム」の運用を予定している。



天竜区緑恵台で発生した盛土による土砂崩れ

代表質問

3月7日には、会派を代表して2人の議員が質問を行いました

自由民主党浜松
倉田 清一特性に合わせた支援に
つながる5歳児健診を**質問** 今後実施が予定されている5歳児健康診査の効果的な実施について、本市の考えは。**答弁**

5歳児健康診査は、就学後の集団生活になじめない児童を早期に発見し、特性に合わせた支援につなげることが、その後の社会生活への適応の観点から重要と考えている。

実施には精度の高い発達評価、特性に合わせた切れ目のない支援、健診への保護者の理解などが必要不可欠である。また、健診結果や支援状況などのデータベース化による情報連

携が有効と考えている。その上で、支援者による子の特性に応じた継続的な関わりとともに、保護者に丁寧な説明を行い、子の特性や接し方を理解いただくことが、学校生活の安定や将来的な自立の基盤につながると考えている。

その他の質問

① 中期財政見通し策定の考え方は

② ごみ有料化と水道料金値上げの見通しは

③ 浜松市のみちづくり計画の考え方は



本市と長野県飯田市を結ぶ三遠南信自動車道青崩峠トンネル工事完成式

公明党
幸田 恵里子共生社会の実現に向け
意識醸成や理解促進を**質問** 外国人市民との共生社会の実現に向けた市民の意識醸成や理解促進への現状と課題、今後の取組はどうか。**答弁**

本市は、多文化共生都市・浜松の実現を目指し、外国人の子どもへの不就学ゼロ作戦など、全国の自治体の中でも先駆的な取組を積極的に展開している。また、意識醸成に向けた取組として、毎年10月を「多文化共生マンズ」と位置付け、多文化共生の意識を啓発する強化月間としているほか、毎年7月に地域共生自治会会議を開催

し、地域共生の好事例の共有や課題解決を目指す機会としている。7年度は日本とブラジルの外交関係樹立130周年でもあり、こうした機会を活用して共生社会の実現に向け意識醸成や理解促進に努めていく。

その他の質問

① 発達障害者地域支援マネジャーの配置を

② 通常学級にも専門職と連携した支援を

③ 若者のUターン就職の促進を



職場体験プログラム「浜松みらいっこ」で機械加工を学ぶ小学生

石津 陽子
市民クラブ同報無線の内容を確認
できる仕組みの整備を**質問** 同報無線は情報を迅速に伝える重要な手段であるが、天候や地形の影響などで、情報を必要としている人が聞き取りにくい場合が多くある。放送内容をホームページに掲載するなど、即時確認できる仕組みの整備が必要と考えるがどうか。**答弁**

屋外スピーカーは約470基設置しており、同報無線の放送内容が聞こえにくい場合には、スピーカーの方向調整や戸別受信機の貸与により対応しているが、聞き取れなかった人や内容を再確認したい人

一般質問

から、放送内容を確認する方法がない、との意見がある。

7年3月末までには、本市のホームページから放送内容を確認できるよう整備を進め、市民へ避難情報などの災害情報が確実に伝わるよう努めていく。

その他の質問

① 火災現場の消防団員ヘトイレ環境整備を

② ITキッズ継続育成の支援を

③ サーフイン国際大会の開催計画は



国際大会の会場となる遠州灘で波に乗る宮本竜樹選手

一般質問

3月7日、11日、12日には、10人の議員が質問を行いました



太田 利実保
創造浜松

儲かる林業の実現で中山間地域の産業振興を

【質問】 天竜林業イノベーション推進事業の成果と今後の取組は。

【答弁】 本事業は、異業種の視点から林業特有の課題を洗い出し、学びの機会を若手の林材業関係者へ提供することで、成長産業化のきっかけとするものである。ストーリーづくりや次世代の育成、非住宅建築物などでの販路開拓、ITを活用した需要情報共有化などが必要と分かったことから、7年2月にこれらをテーマとした「天竜林業イノベーションスクール」を開講した。

参加者は、経営管理、ブランディングなど、各分野の様々なスキルを学ぶ予定である。今後、先人たちが築いた天竜林業の伝統を尊重しつつ、林業イノベーションを加速させ、「儲かる天竜林業」の実現を図っていく。

【その他の質問】
①公共建築物の改修に地域産木材の利用を
②認知症施策へ認知症当事者の関わりを
③予防伐採で大規模停電の未然防止を



停電の未然防止のため予防伐採を行う予定の立木(天竜区・熊)



高林 修
自由民主党浜松

人口減少対策に当たり少子化の原因は

【質問】 人口減少が進む中、少子化の原因をどう捉えているか。

【答弁】 少子化は、雇用や所得の不安、出会いの機会の減少から結婚できない、仕事と子育ての両立が難しい、出産を希望しても妊娠に結び付かない、経済的負担や心身の負担から出産をためらうなど様々な要因が複雑に絡み合っている。特に若い世代が雇用や所得への不安から、将来展望を描けない状況にあることは未婚化・晩婚化に大きく影響している。若い世代の誰もが子

どもを生み育てたいと希望し、その希望が叶えられる社会でない限り少子化傾向は反転しないと考えており、若い世代が未来に希望を感じられるよう引き続き、まち・ひと・しごと創生に一体的・総合的に取り組んでいく。

【その他の質問】

- ①学校での情報リテラシー教育の現状は
- ②使用済紙おむつ資源循環でCO2削減を
- ③外国人雇用推進のため日本語教育支援を



フィリピン共和国・ダバオ市との人材育成連携に関する覚書締結式



鈴木 裕之
自由民主党浜松

道路冠水センサーシステム本格運用の実現を

【質問】 道路冠水センサーシステムの検証実験の進捗と今後の運用に向けた取組は。

【答弁】 4年9月の台風第15号の影響による道路冠水で通行障害が発生した状況を踏まえ、5年度から冠水が頻発する市道に冠水時に回転灯で通過車両へ注意喚起する道路冠水センサーシステムを設置し、実証実験を行ってきた。当初は通過車両による波の影響や水面の微細な変動による誤検知などの課題があったが、冠水検知精度を調整し、システムを改修した。

7年度には、新たにさぎの宮駅周辺の市道や白羽町の市道曳馬中田島線などへの設置を予定しており、引き続き検証を行うとともに、市民への効果的な情報提供方法を検討し、本格運用の早期実現に向けた取組を進めていく。

【その他の質問】

- ①生成AIの活用で教育活動の高度化を
- ②さぎの宮駅のバリアフリー化を
- ③海外諸都市との連携等国際戦略の展望は



ランプで冠水を知らせる道路冠水センサーシステム



久米 丈二
自由民主党浜松

三ヶ日地区の子どもたちに適正な教育環境を

質問 三ヶ日地区の児童・生徒数は平成18年度との比較で約6割にまで減少しており、校舎などの大規模改修や改築だけでは適正な教育環境が確保できない状況である。三ヶ日地区の自治会、各小・中学校のPTAから提出された教育環境再整備に関する要望書に対する考えはどうか。

答弁 三ヶ日地区の5校には異なる歴史や文化・伝統があり、地域コミュニティの中心的な役割を担っていることから、教育環境の再整備に向けては、各小

学校区における関係者の間で、意見交換を重ねることが重要であると考えている。

今後も引き続き、保護者や地域と連携しながら、三ヶ日地区の子どもたちにとって望ましい教育環境の実現に向けて取り組んでいく。

その他の質問

- ① 農業の担い手確保と親元就農への考えは
- ② 三ヶ日町護国神社の保存と継承を
- ③ 御園地区における今後の浸水対策は



改修が予定される通称御園川の樋門(浜名区三ヶ日町)



小黒 啓子
日本共産党浜松市議団

水道料金値上げの影響と市民の理解は

質問 水道料金に関する条例が上程されているが、命の水まで値上げされたら大変なことになると多くの声が寄せられている。値上げによる市民生活への影響をどのように考えているのか。また、丁寧な説明もなく市民の理解は得られないと考えるがどうか。

答弁 水道事業会計は2年連続で損失計上し、安全・安心な水の提供のためには水道料金改定やむなしと判断した。6年9月議会で20%程度の料金改定見込みを表明したが、耐震化

・老朽管更新は企業債で財源を確保し、今後5年間の資金残高は最低水準の確保にとどめ、平均改定率を17・9%に抑制した。また、国の地方交付金を活用し、改定から半年間の減額措置を設け、生活への影響軽減に努めた。

その他の質問

- ① フリースクールへ通う子どもへ支援を
- ② 県営野球場検討に市民の声の聞き取りを
- ③ PFASの水質基準改定に対する対応は



震災発生時にできるだけ早く水道施設を応急復旧させるため耐震管への布設替え工事



神間 郁子
自由民主党浜松

年末年始の混乱緩和のため発熱外来の開設を

質問 6年から7年にかけて年末年始はインフルエンザの流行により、夜間救急室や休日当番医の現場が混乱した。現場の混乱を少しでも緩和し、適切な医療を提供するために、新型コロナウイルス感染症の対応と同様に発熱外来を開設してはどうか。

答弁 年末年始の受診者数は、夜間救急室が前年の約2.3倍、休日当番医が前年の約1.2倍となり、ともに過去最多であった。

休日当番医や救急外来の混乱を少しでも緩和するためには、休日

当番医とは別に、発熱患者専門に対応を行う医療機関を開設することが最も効果的であると考えられる。年末年始の医療体制の強化に向け、医師会や薬剤師会などと連携し、発熱外来の開設などについて検討を進めていく。

その他の質問

- ① 指定管理者制度のさらなる見直しを
- ② 地域公共交通の再構築に向けた取組を
- ③ 中山間地域周辺にも弾力的に振興政策を



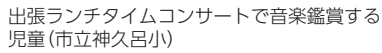
建設当初「山里にモダンな新校舎」といわれた中山間地域の周辺にある旧滝沢小学校



誰もが音楽を享受できるまちづくりの推進を

答弁
小学校の昼休み

を利用して児童が自由に鑑賞できる出張ランチタイムコンサートを市内3つの小学校で開催し、金管五重奏や室内アンサンブルの演奏者が校歌をはじめ子どもたちが親しみやすい楽曲を演奏した。事業実施後のアンケート調査結果では「とても楽しかった」又は「楽しかった」と回答した児童が9割以上であり、また、8割以上の児童



今後は、開催場所を

企業や公園などにも展開し、身近な場所で演奏を提供することで誰もが音楽を享受できる音楽あふれるまちづくりを進めていく。

① 幸福実感に寄与する

文化芸術活動推進を
②すべての子どもへの育
ちを応援する施策を
③^{※4}ケアリーバーへのさ
らなる支援強化を



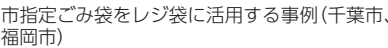
気候変動を考慮した屋
内型遊び場の整備を

質問 年々夏季の気温
が上昇する中、季節や

天候に関わらず子どもが安全に遊べる場所が必要だと考えるが、遊び場に対する需要の把握状況と都市公園における屋内型遊び場整備への見解は。

た調査において、子育て

て中の保護者から天候や猛暑などに配慮した屋内の遊び場を求める意見が多数寄せられたなか、公民連携に適した公園の抽出や検討を進めた。検討の中で屋内型の遊び場は利用者の需要が高いため、周



辺地域の活性化にも資する可能性があると
意見が出ている。

6年度は先進事例調査と整備に向けた課題などの検討を行っており、引き続き民間企業との連携による遊び場について調査研究を進めていく。

① 学校教材のリユース

- ② 授乳室整備など動物園内の快適性向上を
- ③ レジ袋に市指定ごみ袋の活用を



市民が誇りを持てる魅力ある都市の構築を

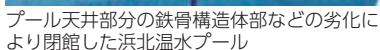
質問 市長には、魅力

ある都市を造るための
グランドデザインを描
いてほしいと考える。
どのようなまちが望ま
れるか議論することが
大切と思うがどうか。

てる魅力ある都市を構

築していくために、時代の変化に的確に対応しながら、地域の特性やポテンシャルを最大限活用し、持続可能な発展を続けていくことが重要と考えておりまち・ひと・しごと創生を一体的・総合的に取り組んでいる。

今後引き続き、都



市全体の機能性と市民生活の利便性に配慮した、未来へ向けた持続可能で魅力ある都市づくりを庁内関連部署において積極的に議論し関連機関ともしっかりと協議・連携しながら、一体となって推進していく。

① 目的税を意識した都

市計画税の活用を

- ② 農業体験など特色のあるキャリア教育を
- ③ 浜北温水プール早期再建に向けた対応は

用語解説

※¹ デフリンピック (3ページ)

デフ (Deaf) とは、英語で「耳がきこえない」という意味であり、「きこえない・きこえにくい人」のためのオリンピック。国際ろう者スポーツ委員会が主催し、4年毎に開催され、第25回東京大会は日本初開催となる。

※² U・J・ターン (6ページ)

Uターン・Jターン・Jターンの総称で多くの場合、大都市圏から地方への移住を指す。

Uターン…生まれ育った地元から別の地域へ移住し、再び地元へ戻ってくることを指す。

Jターン…生まれ育った地元とは別の地域に移住すること。
Jターン…生まれ育った地元から別の地域へ移住した後、地元に近い地方都市などに移り住むこと。

※³ 予防伐採 (7ページ)

台風や地震などの災害時に倒木による停電を避けるため、配電線に影響を与える恐れのある立木を伐採しておくこと。

※⁴ ケアリーバー (9ページ)

児童養護施設や里親などの社会的養護の保護 (ケア) を離れた人 (リーバー) のこと。親など頼れる人がおらず、施設等を離れた後に、困難に直面する人もいる。

資産等の公開にかかる報告書を閲覧できます

令和7年4月に浜松市議会議員から提出された「資産等補充報告書」、「所得等報告書」、「関連会社等報告書」を、6月30日から本庁市政情報室や各区役所及び各行政センターの市政情報コーナーで閲覧できます。

なお、令和3年から6年までに市議会議員から提出された報告書は、議会事務局で閲覧できます。

政務活動費収支報告書等の写しを閲覧できます

令和6年度の政務活動費収支報告書及び証拠書類の写しを、非公開情報を除き、6月30日から議会事務局で閲覧できます。

また、同日から浜松市議会ホームページに掲載します。

なお、令和2年度以降の書類の写しも、議会事務局及び浜松市議会ホームページで閲覧できます。

政務活動費とは

政務活動費は、地方自治法の規定により制定された「浜松市議会政務活動費の交付に関する条例」に基づき、浜松市議会議員の政務活動に必要な経費の一部として、会派に対し交付されるものです。政務活動とは、調査研究、研修、広報、広聴、住民相談、要請、陳情、各種会議への参加など、市政の課題や市民の意思を把握し市政に反映させる活動、その他住民福祉の増進を図るための活動です。

浜松市議会では、会派から提出された政務活動費の収支報告書及び証拠書類の写しの閲覧などを行うことにより、政務活動費の使途の透明性確保に努めています。

詳細は、議会総務課までお問合せください。(☎053-457-2505)

浜松市議会議員定数の あり方調査会報告書が提出されました



3月19日、10か月に及ぶ検証作業を経て、駒林座長から鳥井議長に対し、議員定数などの考え方を示した「議員定数のあり方調査会報告書」が提出されました。

調査内容

- 議員定数の考え方について
- 区ごとの議員定数の考え方について
- 今後の議会のあり方について
- 公職選挙法第15条第8項の考え方について



現地調査する調査会委員(天竜区龍山支所)



報告書の手交(左から加茂副議長、鳥井議長、駒林座長)

調査会の開催状況

第1回	浜松市の特性などの確認
第2回	議員アンケート結果の確認 議員ヒアリングの実施
第3回	市民意識調査結果などの確認 報告書作成に向けた論点整理
第4回	市民意向や人口減少、1票の較差に対する考え方を整理
第5回	報告書を提出 概要説明

調査会が示した結論要旨

- ◎ 議員定数は、現時点では減じる理由は見当たらない。ただし、市の将来を展望すると1票の較差の問題や将来の人口減少を踏まえた見直しが必要と考える。
- ◎ 議員定数の検討には、区ごとの事情に配慮するとともに、市民の意向を十分汲み取った上で判断することが望ましい。
- ◎ 天竜区の定数については、1票の較差の観点から、見直しせざるをえないと考えるが、単なる削減で議論を終わらせないことを強く要望する。
- ◎ 今後の見直しについては、特段の事情がない限り、一定期間行わないことも十分考慮すべきである。
- ◎ 議員定数に関する条例は市議会での決定事項ではあるが、参加しづらくなる市民の意向を十分汲み取った上で、彼らに対する対策を十分に検討することも求められる。



活発な議論が交わされる調査会

議員定数に関する今後のスケジュール

浜松市議会では、提出された報告書を参考に、令和7年5月に浜松市議会として議員定数の方向性を決め、令和8年2月定例会において定数を決定していきます。

特別委員会の活動状況

6年度の活動状況を報告します

大都市制度・行財政改革特別委員会



地方創生特別委員会



◆区再編の検証

区再編に関する検証を行う事項は、行財政改革として正規職員数及び組織、住民自治として区協議会、地区コミュニティ協議会及びコミュニティ担当職員としました。

協議において、委員からは、職員定数の削減に係る進捗状況や、異動時における土木業務担当職員間での、災害時における危険箇所の情報の引き継ぎ体制について意見がありました。



細江公園の環境美化、天然記念物の保護活動
(細江まちづくり協議会)

◆総合計画基本計画

現在の計画の評価及び検証、次期計画に係る市民意識調査の最終報告、パブリックコメントの実施結果が報告され、これらを踏まえた次期計画案について説明がありました。

委員からは、次期計画案について公共交通インフラなどに係る具体的な記載の追記や、「世界を市場とする産業・サービスの創造」の成果指標である市内総生産額の目標値に対して意見がありました。

◆行政経営推進プランの見直し

プランのうち、前期実施計画が6年度末で終了するため、プランの総論の一部を見直すほか、11年度までの後期実施計画の策定について説明がありました。

◆大都市制度

指定都市20市の市長・議長が連名で行う国への要望活動について協議し、大都市制度にまつわる様々な要望活動を行いました。

◆総合戦略

浜松市総合戦略の案について説明がありました。委員から、人口減少に関しては総合戦略の中に危機感を感じるような文言や目標値があっても良いのではないかと、また、課題を抱えている人にスピード感、危機感を持って取り組んで欲しいとの意見がありました。

◆子ども子育て支援及び少子化対策

浜松市子ども計画の策定について説明がありました。委員から5年計画の進捗確認について質問があり、当局からPDCAサイクルで毎年評価を行い、今回新たに意見聴取を重視する点を追加しているとの答弁がありました。

◆中山間地域活性化

第3次浜松市中山間地域振興計画の策定について説明がありました。委員から、中山間地域を訪れる意識を市民全体で醸成すべきであると同時に、中山間地域に準ずる地域への対応をより積極的に行うべきである

との意見がありました。

◆その他

浜松市中心市街地活性化基本計画策定と阿蔵山産業用地開発事業について説明があり、協議を行いました。

◆提言

1万人を超える市民の方から貴重な意見をいただいたアンケートや、5年度からの2年間の調査研究をもとに「子ども子育て支援及び少子化対策に関する提言書」をとりまとめ、9月25日に市長へ提出しました。



子育て支援としての屋内遊び場の事例(山形県長井市)

大型公共施設建設特別委員会



危機管理・交通政策特別委員会



◆県が整備する新野球場

県が実施したパブリックコメントの結果や、利活用推進協議会の設置について報告がありました。今後、公園全体の利活用、野球場の規模・構造、役割分担や費用負担などを県と協議していくと説明がありました。

◆新病院建設

浜松医療センター3号館の改修工事について、契約内容の変更を行うと報告がありました。「設計時点で確認が困難なものへの対応」の中に、アスベスト含有建材の除去・処分があることにに対し、委員から、建築年から推測ができなかったのかと質問があり、当局から、ある程度の予想はできるが、調査せずに入っているというみなし処分をしようという、金額が高くなってしまいうことから、現地での分析調査のうえで特定しているとの答弁がありました。

◆四ツ池公園スポーツ施設

再整備を予定している陸上競技場について、想定される整備パターン、



再整備が予定されている四ツ池公園内の陸上競技場(再整備案の1例)

浜松球場の代替となる施設の候補が提示され、議論した内容をベースに基本構想をまとめていくと報告がありました。また、民間活力導入の可能性について、委員から民間投資を最大限に活用すべき、事前に考えを固めず、提案を受けた後にどうい公園にしていくかを議論した方がよい結果につながるのではないかなどの意見がありました。

◆道路ネットワークに関する事項

当局から「浜松市のみちづくり計画」について説明がありました。これに対し委員から、これまでに、矢羽根型の路面表示がされている箇所、自転車の自動車の接触事故があったか、と質問したところ、当該箇所での接触事故はない、との答弁がありました。

このほか、計画策定にあたり、学識経験者など、有識者からの意見をどの程度反映したかなど、多くの質疑・意見がありました。

◆災害対策に関する事項

当局から能登半島地震の被災地への支援について報告がありました。これに対し委員から、本市における避難所の暑さ対策はどうか、と質問したところ、各避難所に大型の扇風機を2基配備している、また、7年度には大型スロットクーラーを導入し、停電時にも対応できるようにポータブル非常用発電機の配備も検討する、との答弁がありました。また、



能登半島地震で被災した下水道の復旧活動に従事する本市職員(石川県珠洲市)

長期にわたり、延べ997人の本市職員が応援に行くなか、病気になる職員や事故はなかったか、と質問したところ、災害現場は過酷な状況であり、インフルエンザや新型コロナウイルスに罹患した職員がいたが、精神疾患はなかった。また事故もなかった、との答弁がありました。

このほか、6年10月3日に発生した突風について、ガラスが割れて子どもがけがをした、屋根が飛んだなど、被害状況の報告がありました。

発行／浜松市議会〒430-8652 浜松市中央区元城町103番地の2
編集／浜松市議会事務局
印刷／株式会社アプライズ



浜松市議会では、インターネットによる本会議・委員会のライブ中継と録画配信を行っています。
ぜひ御覧ください。



アジアでは多くの民族が盛衰を繰り返し、多様な文化が形成されてきました。人々の生活に根ざした工芸である陶磁器には、時代や地域ごとの文化的特徴が色濃く反映されています。

本作は、15～16世紀にベトナムで制作された水注^{すいちゆう}です。ふくよかな象が鼻を高く上げ、躍動感たっぷりに表現されています。その姿からは、高らかな鳴き声が聞こえてくるかのようです。作品名にある「青花」は、白い素地^{せいか}の上にコバルト顔料で青い絵付けを施す技法です。象の体に描かれた意匠的な文様と素朴な顔貌表現により、全体的に愛らしい作品となっています。

浜松市美術館では、町田市立博物館が所蔵する東南アジア各地の陶磁器と、それに関連する中国の陶磁器を展示した「躍動するアジア陶磁-町田市立博物館所蔵の名品から-」を開催しています。本展では、技法や色彩に注目し、新たな視点からアジア陶磁器の魅力を紹介しています。同じ技法でありながら、地域ごとに異なる多彩なバリエーションを、ぜひご覧ください。

紙上美術館
No.190



再生紙を使用しています



不要になればリサイクルへ

浜松市美術館ホームページ



「躍動するアジア陶磁 - 町田市立博物館所蔵の名品から -」

6月22日（日）まで開催

開館時間：午前9時30分 ～ 午後5時（入館は午後4時30分まで）

※月曜日は休館（月曜日が祝日の場合は開館、翌日休館）

紙面に関するお問合せ
浜松市議会事務局 調査法制課
☎053-457-2513

〔6月〕
4日 議会運営委員会
5日 本会議（代表質問）
6日 本会議（一般質問）
9日 本会議（一般質問）
10日 各常任委員会
16日 議会運営委員会
17日 本会議（採決・5月定例会閉会）

〔5月〕
12日 各常任委員会
13日 議会運営委員会
16日 議会運営委員会
22日 本会議（5月定例会開会）

今後の議会活動の予定